

チャレンジ項目記入数

14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念を「新しい価値観に基づく企業活動により人類社会の進化発展に貢献する」とし、『リボンガスフィロソフィ』として冊子に明文化している。朝礼や日々の業務において社員への浸透を図っている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		ISO9001の基準に則り、明確な基準を設けた上で日常の教育によりコンプライアンスの徹底を図っている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		ISO9001の基準に則り、ステークホルダーに対し社会規範に則った事業活動を行うことを明文化し、社内外に周知している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		ISO9001の基準に則り、管理統括部や内部監査員を設置し組織体制を整備し部門毎に社会・環境に及ぼす影響がないか調査、確認している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		商標、著作権を保護している。2件(ユカカラ暖房・ユカカラ暖房MUTEOA)特許取得済み。1件(YDテント)特許申請中。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護の指針を作成し、その重要性を社内で共有している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		ISO9001の基準に則り、顧客満足度調査を行い利害関係者の声を聞くとともに日々のPDCAを回すことで製品、サービスの内容に改良改善を加えている。															16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	取引先の理念等の聞き取りを行い、地域環境保護や人格侵害等への配慮ができたサプライヤーと積極的に事業連携を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	自社のBCPを策定し、停電対策等を行うとともに、ステークホルダーのBCPのサポート、特に地震や停電対策の提案を行っている。また災害時の訓練を他社と合同で行っている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	後継者を定めた上で、フィロソフィの継承や新たな組織体制の構築を進めている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		社内に労働安全委員会を設置している。労働基準協会にも加盟し、社内外の人権侵害をなくし取り組みを行っている。就業規則に明記するとともに、経営理念にも差別の禁止をうたっている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		機械、工具などを使う危険な作業も多いため、各種研修の受講等を行うなど、安全管理を徹底している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		「全従業員の物心両面の幸福を追求する」という経営理念に基づき就業規則等の整備を行い、同一労働同一賃金を基本として待遇改善に取り組んでいる。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		男女間の仕事内容などが不平等にならないよう就業規則に基づき、部門間の連携を強化することで不要な残業は極力なくしワークライフバランスの両立を推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		技術のみならず心(フィロソフィ)の部分も含めて、社内外で研修を行うとともに社員の仕事に必要な能力開発、教育推進や資格の取得を推進している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		労働安全委員会を設置し、健康診断を会社全員参加で毎年受診するなど、社員が心身ともに健康に働ける会社を目指している。なお健康診断は経費補助を行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		年齢や男女の違いによる待遇の格差をなくし、平等に活躍できる体制を整備している				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	テレワークができる体制を整備し、管理部門、設計部門など可能な部門についてはリモート業務ができる体制を整えている。不要な残業をなくし、労働安全委員会により新型インフルエンザ対策などを徹底している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	施工管理用クラウド(ANDPAD)などの活用により、社内のデジタル化、ペーパーレス化を推進している。全国展開の事業はネットワーク化、DXを活用することで推進出来ている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9		12					

						チャレンジ項目記入数	14															
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		建築物石綿含有建材調査者および石綿作業主任者技能講習などの参加など、リフォームで発生する廃棄物の適正処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		部門別採算管理(アメーバ管理会計)において、電力、ガス、ガソリンなどのエネルギー経費を管理し、削減目標を定め簡易計算シートで算出された数値を基に社用車の使用を減らすなど排出の抑制に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		社用車を減らし、こまめに冷暖房を消すほか、自社の温室効果ガスの排出量を簡易計算シートを用いて把握し、排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		国産材の使用や環境保護に配慮したMDFなどの資材の活用を進めている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		自社のショールームの名称「Rism(アールイズム)」は4Rの理念を表したものである。 紙ごみなどはシュレッダー処理した上でエコリサイクル、その他段ボールなどの再利用にも取り組んでいる。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		わくわく節水倶楽部に加盟し、ポスターの掲示など熊本市の水資源保護活動に協力している。また弊社は節水器具普及協力店としてお客様にも節水を呼び掛け、節水器具の普及に努めている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		リンナイのハイブリッド給湯器エコワンや高性能温水床暖房などメーカーと協力して省エネ製品の開発に取り組んでいる。									9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	建物、ショールームの道路に面する花壇に高木と低木の植栽を施し、地域の環境改善と街並みの保全に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	高性能GHPや温水床暖房(ユカカラ暖房)の設置、二重窓を設置するなどCO2排出削減に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	業務上発生するブラゴミを分別し、再利用可能な資源物の適正処理に取り組んでいる。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	省エネに貢献するGHP、ユカカラ暖房や二重窓を設置し省エネに努めるとともに、水素エネルギーの導入も検討している。 自社でCO2削減に取り組むことはもちろん、ステークホルダーのCO2排出ゼロに向けた取組みを支援している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

						チャレンジ項目記入数		14															
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		ISO9001により、サービスの品質管理目標を立て年間を通してPCDAを回し、品質向上に努めている			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		会社にはバリアフリースロープ及び障がい者専用駐車場を設置している。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	地球温暖化、CO2削減、省エネ、BCP、少子高齢化対策に役立つオフィス用ユカカラ暖房やハイブリッド給湯などの製品サービスを数多く開発し、全国に広げている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		商工会議所のエリアサポート事業の委嘱エリアアシスタントとし地域の高齢者や子どもなどを見守り安全な生活をサポートしている。 登校時には会社付近の通学路を幅広く清掃することで、子どもたちの見守りを行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		社屋等の防災、減災対策を進め、災害時にも運営に支障をきたさないようにしている。 非常用電気発電も導入している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	24時間保安体制を整え、火災等の発生時にいち早く現場に向かっている。 避難所の環境改善の取り組みを行政と連携し開発している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	非常時の停電対策になるハイブリッドガス給電システムを開発している。 避難所の寒さ対策とプライバシー保護に役立つYDテントを開発、普及に取り組んでいる。									9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	社内の教育のみならず、利害関係者や全国のガス事業者にSDGsの啓発活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	ポリテクセンターなどと連携し、地域の若者だけでなく、就職氷河期世代などの採用に取り組んでいる。				4.4				8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17	
						・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。																	
						2525																	